

新潟水俣病の被害者数の変化は？

平成中頃(2010年)

令和初め(2019年)

被害

平成中頃(2010年)のころの被害者数



令和初め(2019年)のころの被害者数



市や町別の被害者数を、平成中頃と令和初めで比べてみました。

全体の被害者数が、2倍以上になっているよ。

被害者数は、なぜ増えたと思いますか？

被害者として声を上げる人たちが増えてきたのかな？

それでは、なぜ、被害者として声を上げやすくなったのか、その理由を考えてみましょう。

Q パネル14をチェック！

上・中・下流の被害のちがいをまとめよう！

下流 (新潟市)

地域	平成中頃	令和初め
新潟市	1,015名	1,669名

- ✓ 最初に、下流で被害の発生が確認された。
- ✓ 昔も今も、被害者の数が最も多い。

→ 川魚の漁が、とてもさかんだったから？

Q パネル05をチェック！

中流 (五泉市・阿賀野市)

地域	平成中頃	令和初め
五泉市	47名	223名
阿賀野市	551名	1,241名

- ✓ 五泉市は被害者の数が少ない。
- ✓ 阿賀野市は被害者の数が多い。

→ なぜちがいが生まれるのだろう？

Q パネル06をチェック！

上流 (阿賀町)

地域	平成中頃	令和初め
阿賀町	123名	349名

- ✓ 昔は、被害者の数が少なかった。
- ✓ 10年くらいで、被害者の数が3倍くらいに増えた。

→ 被害者が声を上げやすくなったから？

Q パネル07をチェック！